



134号

2020年11月・12月



あきかぜ た 秋風が立つ The autumn breeze cools love



日本新首相  
おめでとう  
ございます！

菅 義偉様



## 35 回目例年総会

2020年9月26日 NKK の第35 回目の例年総会が開催された。毎年サラットサミティーで開催する総会は COVID-19 パンデミックのせいで今回初めてオンラインプラットフォームの Google Meet で開催された。会議は会長のプナム ナンダ デ先生の感謝の言葉で始まった。このパンデミックが続いている最中に AGM を開催でき、バーチャルだったが、皆に会うことが出来た。また、接続のしやすさがあり、より多くの NKK メンバーが参加でき嬉しかった。

協会の事務局長のサンジョエ ガングリ氏は 2019 - 20 年度のレポートを報告した。前年度は順調に活動ができ主な活動は、コルカタの日本総領事館と HIDCO の協力を受けてニュータウンのナズルル・ティルタホールで開催された第30 回シネマニッポンと東京で開催された第23 回目の印日学生会議。また、ジャダプール大学のトリグナセンホールで開催された第35 回目の印日文化祭、長浜浩子先生による書道ワークショップや桃山学院大学と上智大学の学生との交流会。

この後 NKK の会計のリーマ バスさんが、2019-20 年度の監査された財務報告書を読み、その後、既存の委員会メンバーが解散し、新しい委員会のメンバーが選出された。バーチャル拍手ラウンド後私たちは家の安全な環境でオンラインで開催できるイベントを提案した。メンバー達は面白いアイデアを出した。「COVID-19 は NKK の活動を止めさせられない」とインスピレーションをもらった。最後に副会長のアンジャナ バネルジーさんが感謝の言葉を述べ会議が終了。会議は無事に済んだが、見逃したのは会議の後のスナックのサモサと皆と直接会うことだった。NKK の 35 回目の AGM に出席したメンバーは、将来の成長を願って楽しい雰囲気でも終わった。

アヌシャ バナルジー

## 先生のデスクから

日本語の学生の皆さん、このパンデミックの困難な時に自分の大学の勉強や仕事をしながら日本語の勉強をオンラインで続けるのは大変なことだと思います。

JLPT を目指して勉強している人も多いと思いますが、やはり何かをする時は目標というもの大切です。ダラダラと勉強するのではなく、一年先に JLPT の N4 を受けたら一年で漢字を 300 こ覚えるとか はっきりと目標を持ってください。一日に新しい漢字を一つ覚えたら一年で 300 こ以上覚えられははずです。

JLPT を受けない人は一年後には日本語で書かれた簡単な子供の本を読むなどの目標を立てたらいいでしょう。漢字を覚える時は何度も繰り返して書くことがとても大切です。その漢字を使って文章を書くのもいい練習です。それともう一つ大切なことは日本語だけでなく日本のこと例えば文化、地理、歴史、経済などにも興味を持ってください。

「千里の道も一歩から」皆さん、どうぞ頑張ってください。

ニガム 和子先生

Nihongo Kaiwa Kyookai Society, 2B, Shivangan, 53/1/2, Hazra Road, কোকতা- ৩৫১৩  
E-mail: write2nkks@gmail.com Visit us online: <http://www.nkks.org.in>

## アローク バスさんとのインタビュー



ほぼ 18 年間 (2003 年 7 月～8 月号以降)、「桜」ニュースレターの共同編集者であるアローク バスさんは、さまざまな人のインタビューをされた。でも今回アロークさんはご自分のインタビューを受けられた。2001 年

から始めて毎年印日文化祭の日本語ドラマで演技されている。Mind Your Japanese Language という日本語のスキットの役の「ムングリ」さんという綽名で呼ばれている。彼はベンガル語の想像力豊かな作家であり、6 種類の出版物 (小説、短編小説、漫画、日本語からの翻訳) で評価されている。彼は 2018 年に Moul Sahitya Samman (文学賞) を受賞された。日本のおとぎ話とキッチョムの話もベンガル語に訳された。日本語で書かれた作品は、日本の雑誌「チャンパの花」に掲載された。親しい「諺さん」のインタビューからの抜粋：.

Q:: 今回は役割の逆転ですね！今回はインタビューをします。

A :: はい、「さくら」のページに自分の気持ちを表す機会を得られて名誉に思います。

Q:: アロークさんは私と一緒にニューデリーに行き、全インド日本語スピーチコンテストに参加されましたね。題は「日本のことわざ」でした。みんなに「ことわざさん」と呼ばれ始められましたね！

A:: ああ！それは素晴らしい気分でした。尊敬すべき日本の大使も私を「ことわざさん」と呼び始められた。

Q :: アロークさんは全インド日本語スピーチコンテストに何度も参加されましたが、その時の題はコミカルな日本語のことわざが多かったですね。

A :: 実はクラスの受け持ちの先生のニルマル クマール ダス先生が「ことわざ」でスピーチをするように勧められました。2 年生の時で私は先生の最初の日本語の受け持ちの自慢の学生でした。私のスピーチの話題は少し型破りで「日本語と恋人」でした。その後 300 近くのことわざを覚え、それが私の情熱になりました。

Q :: アロークさんは在コルカタ日本国領事館で日本語を学び始められましたね。

A :: はい。2、3 年前、道で偶然 1 年生の時に教えて頂いた先生に会いましたが、先生は私のことをなかなか思い出してくれませんでした。私はとても悲しかったです。

Q:: さくらの共同編集者としての経験は。

A :: この機会を与えられたとき、私は自分の耳を信じるのができませんでした。学生時代に学校新聞やベンガル語の小さな雑誌を編集していましたが、最初はまったく自信がありませんでした。

Q :: 「桜」に色々な新しいことを紹介されましたね。

A :: 第 15 号 (2002 年 9 月～10 月からスマタ デさんと共同編集者としてスタート) から、毎号ことわざを掲載し始めました。最初のことわざは「急がば回れ」でした。

「桜」は第 20 号から、2 ページではなく 4 ページで出版し始めました。日本語の勉強に役立つ記事もいくつか掲載し始めました。前任者のアルナワロエさんとバティン サハさんはこのニュースレターをととても素晴らしく出版されていましたがベンガル語の雑誌の編集者としての私の経験に基づいて、新しい方法で始めようと思いました。でも今は「桜」の共同編集者として私はインタビューを担当しています。

Q:: なぜ日本語を習い始められましたか？

A:: そのことは自叙伝が書いてあるベンガル語の小説で述べました。子供のころから私はパリに行きたかったのでフランス語を学びたかったです。けれども、ある友達に日本語を学んだらお金を沢山稼げると勧められて日本語を選びました。でもその時私はすでに公務員でしたからマモン、富の神を崇拜しなくなかったです。

Q:: 趣味は。

A:: 読書をよくし、絵を描いたりしています。学生時代、自分の絵の展示会をしました。私は映画ファンでもあるので、ある英語の日刊紙に映画の週刊コラムで書いていました。.

Q:: アロークさんは JNU に入学したかったですね。

A:: はい。修士課程コースの入学試験を受けるため沢山準備をしました。おそらく、私の堅実な公務員の仕事とまたは私のカジュアルな (無神経かもしれない) 性質が、試験を受けなかった原因でしょう。ニューデリーでは、通訳の仕事をしたときに、ビジネス日本語のコースにも参加しました。

Q:: 日本語ドラマの監督としての経験は。

A:: 2001 年 P S MITRA さんが NKK の日本語ドラマに参加するように頼んだとき私はとても喜びました。その後毎年参加しています。その 3・4 年後私はニガム先生や MITRA さんの助けを借りて日本のドラマを書き、監督し始めました。MITRA さんはいつもご自分の貴重な経験で手伝ってくれます。監督兼俳優として、私は常に自分のレベルを最高にするように努めています。他の参加者の協力もありますが、時々彼らの規律が足りないので困ることもあります。しかし、これは人生です！

Q:: 翻訳者としてどんな物を訳したいでしょうか。

A:: インドの偉大な革命家のラッシュ ベハリ ポースの日本語の作品を翻訳したいと思います

Q:: 日本語の先生としての経験は。

A:: 私はジャダプール大学の日本語コースで 4 ヶ月間教えたことがあり、多くの学生に日本語の家庭教師をしました。本当に楽しかったし、学門に王道なし---ということを感じています。

4 ページに続く...



# ロックダウン 日記-3



## ドロン シンハ:

コロナウイルスのパンデミックが始まった時、私は自分が部屋の中に閉じ込められたように感じていた。部屋は鳥かごみたいだった。それから好きなことを始めて「幸せ」を見つけた。私はギターを弾くのが好きで、「ベンチャーズ」と「シャドウズ」のファンで、そのバンドの色々な曲を弾いた。The diamond head、Walk don't run 64、The lonely Sea、Spring Love、Come September などの曲も弾いていた。落ち込んだとき日本語の歌を歌ったり、書道をしたりして心を平穏にした。未完成で残っていた絵を完成させた。私はいつも水彩絵の具と油絵の具を使う。そして詩も書く。

Oh, dear flowers,  
You're like shooting stars,  
Falling from the branches!  
Showing your love and  
grace.  
Your heavenly scent,  
In the air is blended!  
You were here in Spring,  
Or, it was just a dream?  
Your memories still  
remain,  
Cherry Blossoms, hope we  
meet again!

### 自分の作品



### 読者達へ、

実はスマナ バタチャルジーさんのアイデアだった。彼女の熱心なサポートのお陰で私たちは「桜」の読者の若いグループへ手を差し伸べることができた。「ロックダウン 日記」に記載するための多くの数の記事はどちらを最初に記載したらいいかと私を混乱させた。これらのメンバーが持つ無数の才能の中で、特筆に値するのはどれだろう？皆さん、しばらくお待ちください、すべてのメンバーに公平にすると誓う。皆様に心より感謝。スマナさん、どうも有難う！

## アナニタバネルジー:

2020年の2月から3月の前、私たちの生活がこれほど劇的に変わるとは想像もできなかった。マスクは通常の服の一部となりアルコールスプレーと消毒剤は家庭では必須であり、手を洗うことはまばたきをするのと同様のことになった。外出する前に十分な準備が必要。旅行の計画も不要、なぜなら「今旅行すべきだろうか？」と頭の中に質問が浮かぶ。

Covid-19 はごちゃ混ぜなことだ。家から遠くの所で働く多く人が困り、人々は自分や家族の健康に関してストレスが増えた。その人たちは自分の仕事だけではなく、親や友人や親戚を亡くした。その一方人々はずいぶん家族と一緒に過ごす時間を見つけた。週のほとんどの時間は仕事で費やされ、週末は次の週の準備で忙しかったが、私たちはようやく休憩を取り、好きなことをする時間が出来た。教師の私にとって仕事の仕方も変わった。

「ミュートしなさい」、「ビデオのオン/オフを切り替えて下さい」、「皆さん、Google フォームをダウンロードし、記入をし始めて下さい」などの指示をしている。また短いスキットもビデオでした。外食をしなくなったとき、家で同じような雰囲気を作って家族と一緒に楽しんだ。これに加えて、私が開始した「やした」という新しいベンチャーは私に別の世界を開かせてくれた。今までは服を「買った」だけだったが最近では機械織り機と手織り機の使い方、綿とシルケットの違い、麻の種類と違い、

藍染めやブロックプリントなどを学ぶようになった。いろいろな分野の人とつながり、その人達は私を総合的にサポートしてくれている。

Covid-19 ですべて終わりにならない。この状態は私達の時間がポジティブな経路を作れるように手伝ってくれるに違いない。



おめでとうございますニガム和子先生!

Nihongo Kaiwa Kyookai の Facebook で  
<https://globe.asahi.com/article/13705581>  
記事を「朝日新聞」でご覧ください。...



日本語クロスワード  
(11月 - 12月)

1	2	3		4	5
6				7	
8			9		
10		11		12	
	13		14		
15			16		

**ACROSS**

- 1) Year ending party
- 6) Reflection
- 7) Waterfall
- 8) Needle
- 9) Hope/wish
- 10) Grip
- 12) Plum
- 13) Rational
- 15) Mist
- 16) Snow viewing

**DOWN**

- 1) Accident gun discharge
- 2) Transformation/transition
- 3) To sleep
- 4) One way business
- 5) Buried alive
- 11) Tree trunk
- 14) Cocoon

モハシユウエータ バス ムカルジー

(9月-10月)

日本語のクロスワードの答え

1 こ	2 う	3 こ	う	4 せ	5 い
6 や	ま	じ		7 わ	ら
8 か	や		9 か		か
ま		10 あ	さ	11 ひ	
12 し	13 し	つ		14 が	15 か
16 い	ま	い	ま	し	い

綴り換え- 68

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで答えを見つけましょう。



1. きびね(Price reduction)

○ □ □ □

2. てんこうさ(Crossing)

○ □ □ □ □ □

3. さいあじ(Big leaf hydrangea hydrangea macrophylla)

□ □ ○ □ □ □

4. まえたあり(Natural, reasonable)

□ □ ○ □ □ □ □ □

シヨントウ デブナート

綴り換えの答え- 67

- 1. けんきゅうしつ
- 2. えんぴつ
- 3. のうぎょう
- 4. なかよし

け ん え ん の な か

2 ページから続く...

最後に、ニガム先生、ニルマル先生、ビジャヤダス先生、ナンディニ先生、ギタ キニ先生、ガルギ キニ先生、順子先生、川浦先生、プラビ先生、故バクシー博士、バクシー夫人、そしていつも私を励ましてくれた人たちに心から感謝いたします。

ルマ チャタージー

編集者：トヌスリ チャタルジー・アローク バス 翻訳者：トヌスリ チャタルジー

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター